

元気・和歌山市実現に向けて



和歌山市議会議員 赤松 良寛
「発行者」和歌山興志クラブ 赤松良寛
☎640-8492 和歌山市中之島1260

民間企業の知恵を
「ふるさと」に!



ご挨拶

令和二年は、和歌山市においては花山交差点の漏水に端を発しての断水騒ぎに始まり、またその後世界を震撼させている新型コロナウイルスの蔓延等、大変な幕開けとなっております。問題解決の糸口が見えず、不安な毎日ですが、本市におきましてもそういう問題に対して市長を中心に市の職員の方皆さんは懸命に対応してくれて

いるのを間近に見ています。そういう中、通常通り開催された3月議会において一般質問に立ちました。

今回は市役所にて年間41万件にも及び現金取り扱いに対してキャッシュレス化の計画すらない現状、変わらぬ残業実態、SDGs 未来都市に選ばれながら食品ロス削減や子ども食堂などのボラン

ティア活動に対して当事者意識が不足している点の三つを例に挙げ、これらは全て役所における前例至上主義、後追い主義に起因するものだと指摘し、意識改革を強く促すことを主旨としました。

今後「民間企業の知恵をふるさと」の軸足をぶらすことなく、民間企業とは違う役所体質の改善に微力ながら粘り強く取り組んで参ります。

皆様方におかれましては、どうぞ引き続き温かく見守ってください。

以降に市・当局とのやり取りの一部を抜粋しご紹介させて頂きます。
ご一読賜り、ご意見アドバイス等頂戴出来れば幸いです。

一般質問（第一問）

①本市の現金取り扱いの件数並びに金額は、現状どのようなになっていますか？

総務局長 平成30年度中の収納された手数料などの総取扱い件数は41万3017件、総取扱い金額は10億4780万円となっております。

②部局別にみて件数の多少、一件あたりの金額の大小等、何かしらの特徴はありますか？

総務局長 現金での取扱い件数で多いのは、住民票等の証明手数料を取り扱う市民課が一番多く、約21万2千件と全体の半分を占めています。また、定期的に現金で収納されるものの中では保育に関する利用料等が延べ5万7千件を超えています。一件あたりの取扱い金額では許認可申請に係る手数料が高額であり、消防局で取り扱っている危険物関係手数料では、一件あたり平均で5万5千円、最大



で一件44万円となっています。

③他都市のキャッシュレス化の実態はどうなっていますか？

総務局長 中核市では令和元年8月から千葉県船橋市が、令和2年3月から豊中市がキャッシュレス決済を開始しています。

①本市はSDGs未来都市として食品ロス削減の問題に対してどのような取り組みをされていますか？

②SDGsでもうたわれている公平な社会の実現に一役かっている「こども食堂」のような地域内のボランティア活動に対して現状具体的にどのような支援をされているのかについてお聴かせ下さい。

一般質問(第二問)

年間の現金の取り扱い件数が41万件ということでした。

そのうちの半分の21万件は市民課での戸籍謄・抄本、住民票、印鑑証明等の手数料です。一件あたりの平均金額で見ると消防の許可の5万5千円が最大とのことです。

キャッシュレス化は時代の流れ

でいずれ必須になるでしょう。間違いない市民の利便性も向上させられるのですから、いずれやらなければならぬのなら、早くやった方がよいと思います。

本市と同じ中核都市の中でも既にキャッシュレス化を実現している船橋市や豊中市に遅れをとってしまいました。が、周回遅れにならないためにも真剣に取り組むべきでは？と思うのですが如何でしょうか？

ここで先ほどのご答弁を受けて幾つかの部局を例にとつて質問させて頂きたいと思えます。

①市民課は全体の半分の21万件の現金の取扱があります。市民から見た際に最も利便性の向上を実感出来ると思えます。キャッシュレス化の有用性や課題を研究されているのでしょうか？

市民環境局長 キャッシュレス決済の導入は、市民の利便性向上につながるかと十分認識していますが、現金と非現金での二重の処理に伴う業務増大、機器の導入、保守費用、決済事業者を支払う手数料などの課題が考えられることから、今後、先進導入自治体における対応の状況などを調査、研究し検討してまいります。

②一件あたりの単価が最も高額と

なっている消防局にお尋ねします。消防の許可のため数万円から大きいもので数十万円の現金のやりとりが行われています。多額の現金を持参しなければならぬ申請者、また多額の現金を取り扱う職員さんの気遣いもあるかと思えます。この点をどのようにお考えでしょうか？

消防局長 現金を持参する申請者の方や窓口対応する職員は、金額の多少にかかわらず慎重に取り扱わなければならない責任の重い業務と考えています。窓口業務のあり方を見直して、市民サービスを向上させることが第一であり、キャッシュレス化を含め、更なる業務の効率化を図れるように検討してまいります。

③保育所関係にしてお聞きします。

給食費、絵本代などを毎月現金徴収しているようですが、労働と育児の両方で頑張っている保護者の負担を減らすために口座引き落としを含めたキャッシュレス化は考えられませんか？

福祉局長 給食費や絵本代などのキャッシュレス化について、口座振替などには、保護者に手数料が

発生し、経済的な部分での負担が増加することになります。現時点では徴収方法を維持したいと考えていますが、今後キャッシュレス化について検討していきます。

④この一連の質問の最後として庁内全体の業務を俯瞰している総務局にお尋ねしますが、現在の世の中のキャッシュレス化の流れ、及びその中における本庁の進むべき方向について如何お考えでしょうか？

総務局長 世の中の流れはキャッシュレス化へと向かっています。また平成30年7月に設立された産官学連携の「一般社団法人キャッシュレス推進協議会」においては、自治体窓口や公共施設におけるキャッシュレス化を進めるマニュアルの策定を令和2年3月末までに終える予定です。本市としましても、国の動向や先進市の導入状況などを注視し、キャッシュレス社会への対応や市民サービスの向上に向けて検討してまいります。

残業には二つのタイプがあると

思います。一つは予期せぬ災害や事故の対策で突発的に残業が多くなったり、また予算策定期期の財政や税務、観光などのようにある決まった時期に業務が集中するケース。もう一つは先の二つの課のように恒常的に残業が多い、即ち残業が高原のように高止まりしているケースです。

問題は後者であって根本的に何らかの対策が必要と考えます。

先ずは徹底的な業務の洗い出しです。続いてそれらの見直し即ち本場に必要業務と捨てる業務の選別です。今までやってきたこと



現金支払いのみの市民課窓口



和やかな、子ども食堂の一風景

を変えるのには少なからずの抵抗もあろうかと思いますが、そこが肝心です。

尚、国内で年間に640万トン（300グラムの牛肉パックに換算すると210億個！）も廃棄されている食品のロス削減に対しては本市において市民の関心を高めることに努め、積極的に活動される市民の割合を2017年度の74・6%から2022年度には80%以上を目標にしているとのこと

回答でした。しかしながら、食品ロスは「家庭」からもさることながら多くは「生産者、流通業、外食産業等の事業者」から発生しています。その大元というべき事業者への対策はどうなっているのでしょうか？本来たてるべき目標は、廃棄される食料をどれだけ減らすか？であるべきです。

市民の意識を高める云々は、本来の目標を達成するための一つの指標に過ぎないと思います。是非、本質を見失うことなく今後は「廃棄される食料の削減」という本来の目的に向けて、「廃棄食料の重量」や「削減率」を具体的な目標として掲げることがこの場にて提言しておきます。

子ども食堂に関しては、ホームページでの広報はもとより、支援者である食材提供者と食堂を主宰しているボランティアの橋渡しを積極的に進めて頂き、心のこもったネットワーク作りを強くお願いし、先ほど私がお話したような「本市が無関心で・・・云々」のような市民からの声がくれぐれも起きてこないよう強くお願いしておきます。

一般質問（総括）

一歩先を見越して、いずれ避け

られないものであるなら世の中に遅れてやるより他より早く進もう！という気概を持って欲しいと思います。本庁の職員さんとの話で非常に多い言葉が二つあります。「前例がありません」と「他都市でもそついうことをやっているところはありません」の二つです。私が長らくいた民間企業では、そういうことを言うと必ず返って来る答えは「だから何？」「他にならぬからこそやる意味があるのよ！」でした。

世の中において一番と二番では大違いです。

日本で一番高い山は富士山、大きな湖は琵琶湖、長い川は信濃川です。日本人としてこれらは常識と言えるでしょう。それでは、それぞれの二番は？という質問になると一気に答えに窮する人が増えるようです。ちなみに二番はそれぞれ北岳（南アルプス）、霞ヶ浦、利根川ですが・・・このように一番と二番の差は、二番と三番の差とは比較できないくらい大きいものです。それ故に一番であること、一番になることは重要なのです。

成功しても褒められない！失敗したら責任を取らされる！そんな風土ではバイオニア精神は絶対に育たないと思います。

本市が持続可能な都市であり続ける為には、「きらり輝く元気と歌山市」になる為には何かしら突出したものが必要だと思います。弱点の克服より強みを一層強くすることのほうが重要と私はいつも思っています。

将来を支えるのは子供です。しかし両親の共働きはもはや当たり前前の時代です。よって安心して子供を産み、育てられる環境を日本一にしたい！ということから市長の来年度の施政方針にも「子育て環境日本一を目指して」とうたわられています。三歳児以上の保育料は無料でも毎月、絵本代や給食代が発生し、それらを現金で徴収しているとのことでした。仮に絵本代、給食代等を全額無償化すると年間約4億円かかるとのこと。小さい金額ではないですが、自他共に認める「子育て環境日本一」を真剣に目指すなら完全無償化も有効な投資ではないか？と私は思うのです。

和歌山市民が誰に対しても「これだけは負けない！」と自慢出来るものを行政主導で作って参りませんか？

その為には、本庁職員さん達の新しいことに挑戦する姿勢、一番になるのだという開拓者魂が必須だと思います。

そこで最後に市長にお伺いします。

①本日、私がお話したキヤッシュレス化、残業問題、SDGsの為の取り組み、内容は全く違うように見えますが、そのどれも新しいことへ挑戦しているという職員さん達のやる気が必須だという点で根っこは一つです。

そういう職員さん達のやる気を喚起する為の風土作り・環境作りについての市長の考えをお聞きして私の最後の質問とさせていただきます。

尾花市長 私は公務員の陥りがちで最もやってはいけないことの一つに、事なかれ主義、前例主義があると考えております。特に近年、前例にはないような問題、縦割り組織ではやれないような問題、市民ニーズに合わせ、異なる事業を関連付けてイノベーションして、より効率的な事業にしていかなければならないと思っております。

私自身も常に新たなことをやらない、できるのにやらないことはトップとしての大きな罪であると思っております。職員に対しても「常にリスクから逃げず、どんど

ん新しいことに挑戦してください」また「積極的に民間の方やノウハウに触れてください」と申し上げております。

人事異動の取り組みとしては、自分の仕事にやりがいを持ってもらうために、新規採用職員にはほぼ全員希望の部署にまず配置させていただいています。

また一般職員の人事異動にあっても、希望部署に可能な限り配慮しています。

そして、その人事評価ももちろん、能力評価もありますが、私はどちらかというところだけ努力したかという評価に重きを置いております。

また、職員提案制度を強化して、審査会で却下された提案を一人一人聞いて、議論し、プラスアルファすることに、提案を生かせないか、自ら実行してもらう気がないかなど、若い芽を伸ばすようにしています。

更に、忙しすぎる部署では、新たなことに取り組める余地もないことから、徹底した業務の見直し、また、思い切った全部署の人員の見直しや年間の中の局内異動、併任も活用して、仕事量の平準化に努めております。

嬉しいことに、最近では指示なくとも積極的に提案をし実行する職員が増え始めております。議員

の皆様から受ける指摘や提案も私たちが普段気づかないことも多く、大変ありがたいことだと思っております。

守りに入らず、常に前向きで新しいことにチャレンジできる職場風土となるよう、今後とも心掛けて参ります。

おかげさまで昨年の選挙から一年が経ち役所における業務の年間サイクルを一回り見させて頂きました。民間企業との違いは事前に予想していた以上に多くあるとの印象を抱きました。慣例・慣習を尊重しつつも、流されることなく是々非々で意見を述べるようにして「きらり輝く・元気和歌山市」の実現に向けて精一杯お役に立ててまいりたいと考えております。

●和歌山市議会 会議中継

3月4日に行われた令和2年3月定例会一般質問の模様をスマホやタブレットで左記QRコードをスキャンしていただくと動画でご覧いただけます。



市の相談窓口 (和歌山市HPより)

新型コロナウイルス電話相談窓口

073-488-5112 午前9時～午後5時45分(平日)

対応内容: 新型コロナウイルス感染症に関する相談、感染の予防に関する相談等

※聴覚に障害がある方については、ファクスにおいても相談を受け付けます。

ファクス番号: 173-431-9980

※なお、帰国者・接触者相談センターの対象者以外の方は、上記の和歌山市新型コロナウイルス電話相談窓口をご利用ください。

帰国者・接触者相談センター

下記の症状がある方は、「帰国者・接触者相談センター」に相談ください。

●風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。(解熱剤を飲み続けなければならない時を含みます)

●強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。

※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合その方の症状に応じて医療機関等を紹介し、医師が新型コロナウイルス感染症を疑う場合に、PCR検査を実施します。

090-9870-5112 午前9時～午後5時45分(平日) ※時間外・休日も対応

今後もしも初心を忘れず
全力で頑張ってお参ります。

和歌山市政に関する皆様のご意見、お気づきの点をお寄せください。

和歌山市議会議員 赤松 良寛

■電話

090-9704-9162

073-422-4016

■メール

niesjp@yahoo.co.jp



こちらのQRコードからも
メーラーが起動します。

